

市町村及び関係機関における出前講座

令和7年度8月以降は、
浦添市役所等5カ所実施

1 南部地区保護司会系支部における出前講座

令和7年9月2日(火)、保護司9名が参加。沖縄被害者支援ゆいセンターの活動、被害者の心情、見舞金制度等について講座を開催しました。

参加者からは、

- ・「加害者に対して被害者の心情を考えるよう教示しながら支援をしたい」
- ・「まだまだ勉強しないといけないと考えます。そのきっかけをいただきありがとうございます」等の感想がありました。



2 浦添市子ども青少年課における出前講座

令和7年10月9日(木)、浦添市子ども青少年課の心理士、相談員も参加。7月の講座を受講した職員が、他の相談員等へも周知したいとの趣旨で開催されました。多くの質疑応答がありました。

参加者からは、

- ・「同じ寄添いの心で支援をされているゆいセンターの存在や連携ができることで、支援者としての心理負担もかなり軽減しました」等の感想がありました

3 沖縄防衛局における出前講座

令和7年10月20日(月)、沖縄防衛局において、職員15名に対し、ゆいセンターの活動及び支援事例、精神科医による「犯罪被害者のPTSDとうつ病治療」についての講話を行いました。

参加者からは、

- ・「被害者支援の重要性は理解していたが、家族の支援体制は全く知らなかった」
- ・「被害者遺族に継続的に連絡を取るなどの対応には頭が下がります」等の感想がありました。



4 宜野湾市における出前講座

令和7年11月28日(金)、宜野湾市中央公民館において、職員20名に対し、県の取組状況、ゆいセンターの役割、総合窓口との連携、支援事例等について講座を開催しました。

参加者からは、

- ・「条例制定の趣旨、市町村の条例の必要性等を県の担当が、分かりやすく説明したので理解が深まった」等の感想がありました。

5 中城村役場における出前講座

令和8年1月28日(水)、関係部署7課の職員11名が参加。特化条例策定を検討しているため、県の担当者からの県の取組状況と、ゆいセンターは支援活動事例等について講座を開催しました。

質疑応答では、条例制定の前に

- ・「根拠を明確にしたい」
- ・「村民への周知広報から取り組んでどうか」等活発な意見がありました。

ワンストップサービスに向けた ゆいセンター相談員のための研修会

令和7年8月22日(金)南部合同庁舎4階において、犯罪被害者等支援におけるワンストップサービス体制を構築するため、県、県警を招致して、相談員に対しての研修会を開催しました。

9月1日からワンストップサービスセンターを開所するにあたり相談員29名、理事長以下理事6名が参加し、理事長やコーディネーター等の講話もあり、つながる連携の共通認識を理解しました。



法テラス事務局長による研修

令和7年12月11日(木)、法テラス事務局長 藤井研氏を招致して「犯罪被害者等法律援助について」のテーマで相談員15名が研修を受けました。

参加した相談員は、「犯罪被害者等法律援助」という制度は、包括的な援助となる点で犯罪被害者にとって使いやすいく制度になっている等分かりやすい説明で、今後の支援に大いに役立つ、と意を強くしていました。



事例検討会 「NNVSコーディネーター研修」

令和7年9月25日(木)、NNVS認定コーディネーター 藤澤由美子氏を招致して、「支援者の自己理解」について、支援活動に従事する相談員15名が研修を受けました。

自分の考え方、行動、価値観、発言が被害者や他の支援員にどのような影響を与えるか、自己理解の大切さ等についての講座でした。

研修を受けた相談員は「基本に立ち返って自分の立ち位置や価値観を振り返ることができました。支援員同士の葛藤、対立があっても当然、価値観の違いを認め合う、チームワークの大切さを再認識した」等、内容の濃さが窺える感想でした。

